

| 観点 | 番号 | 発行者の番号・略称 | 使用学年・分野 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 |
|-------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------|--------|
| | | | 17・教育出版 | 第1～3学年 | 器楽 751 |
| 取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 器楽については、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、音色と奏法の関わりや曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、基本的な奏法や他のパートと合わせて演奏する技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 「共通事項」については、活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、音色と奏法との関わりを理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、「不思議な旋律」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽器の音色や響きを生かし、全体の構成を工夫して表現するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動が取り上げられている。 | | | |
| 内容の構成・排列、分量等 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、新しい音の運指やいろいろな奏法を身に付けて、表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、表現（器楽）は89ページ、その他は10ページであり、総ページ数は99ページで、前回と同様となっている。 | | | |
| 使用上の配慮等 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な音楽に触れることができるように、世界の諸民族の楽器を掲載したり、箏と篠笛の家元からのメッセージにより、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「何が同じで、何が違う？」において、吹く楽器と弾く楽器の共通性と固有性を考えて特徴をまとめる活動を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色のレイアウトに配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。 | | | |
| 指導上の配慮等 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、発展的な活動として、弾く楽器の文化や伝統について調べるコーナーが設定されており、その中で樺太アイヌや宗谷のアイヌの楽器である「トンコリ」を演奏する写真が取り扱われている。 ○ ICTの活用については、巻頭に掲載されたQRコードからウェブサイト「まなびリンク」につながり、各楽器の奏法や範奏の動画が多数掲載され、学習場面で活用できるよう工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの共通点や相違点について運指と音を比較するなどして理解を促すことができるよう配慮がなされている。 | | | |
| 本市生徒の学習の状況等 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を生かして表現を工夫する力を育むことができるよう、楽器を使って旋律を組み合わせる創作の活動の設定、リコーダーで他者と音を重ねて演奏するよさを感じ取ることができる3パターンの「カノン」の掲載などの工夫がなされている。 ○ 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを捉えて表現する力を育むことができるよう、各楽器の歴史や演奏形態についての分かりやすい説明、写真や囲みの活用による楽器の奏法や演奏上の注意点の提示など、楽器の歴史や文化、曲の特徴などの理解を促すような工夫がなされている。 | | | |
| その他 | | | | | |

| 観点 | 番号 | 発行者の番号・略称 | 使用学年・分野 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------|-----------|--------|
| | | 27・教育芸術社 | 第1～3学年 | 器楽 752 | 中学生の器楽 |
| 取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 器楽については、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、曲の構成や音色や強弱、音の重なりなどを理解したり、基本的な奏法やパートの役割を考え、全体の響きを確かめながら演奏するために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ [共通事項]については、活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、曲の構成を理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「深めよう！音楽」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、パートの役割や曲の構成を生かして表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動が取り上げられている。 | | | | |
| 内容の構成・排列、分量等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、練習や演奏のポイント等を参考に、表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、表現（器楽）は87ページ、その他は20ページであり、総ページ数は107ページで、前回より約20%増となっている。 | | | | |
| 使用上の配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な音楽に触れることができるように、様々な打楽器の奏法を掲載したり、ピアノ奏者からのメッセージにより、自ら考える力を引き出したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、和楽器奏者からのメッセージにより、楽器の特徴を理解する活動を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされている。 ○ すべての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルフォントを使用したり、白を基調とした紙面で情報の配置に配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。 | | | | |
| 指導上の配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、篠笛を使った各地に伝わる郷土の祭りや芸能の1つとして、江差町の「五勝手鹿子舞」の写真が取り扱われている。 ○ ICTの活用については、要所に掲載されたQRコードからウェブサイトにつながり、各演奏家のプロフィールなどを調べることができるよう工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの共通点や相違点について運指と音を比較するなどして理解を促すことができるよう配慮がなされている。 | | | | |
| 本市生徒の学習の状況等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を生かして表現を工夫する力を育むことができるよう、旋律楽器と打楽器や手拍子を組み合わせるなど、様々な楽器の編成に対応した合奏曲の設定、リコーダーで他者と音を重ねて演奏するよさを感じ取ることができる2パターンの「カノン」の掲載などの工夫がなされている。 ○ 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを捉えて表現する力を育むことができるよう、リコーダー演奏のポイントを示したQ&Aの掲載、写真や囲みの活用による楽器の奏法や演奏上の注意点の提示など、楽器の歴史や文化、曲の特徴などの理解を促すような工夫がなされている。 | | | | |
| その他 | | | | | |